教文館　新刊案内　　1月25日発売予定

ディアコニッセの思想と福祉実践

ある奉仕女の人物史を中心に

坂本道子 著

キリストの福音を伝える奉仕の業

19世紀ドイツで困窮者の救済のため誕生した、ディアコニッセと呼ばれる献身女性の集団。その理念に共鳴した日本初の志願者・天羽道子（ベテスダ奉仕女母の家所属、かにた婦人の村前施設長）の働きを取り上げ、詳細な記録と著述からディアコニア活動の意義を考察する。戦後日本におけるキリスト教社会福祉事業の知られざる一面を探った意欲的研究。

著者紹介　坂本道子（さかもと・みちこ）　日本女子大学文学部卒業、日本女子大学大学院文学研究科（文学修士・社会学修士）、聖隷クリストファー大学大学院社会福祉学研究科修了（社会福祉学博士）。北海道女子大学人間福祉学部専任講師・助教授、聖隷クリストファー大学社会福祉学部教授。著書に『シリーズ福祉に生きる43　大石スク』（大空社、2001年）ほか。

A5判・上製・306頁・定価4,840円（本体4,400円＋税）・ISBN 978-4-7642-7458-7　C3016